

消費・安全対策交付金のうち地域での食育の推進 公募に係る事業メニュー別目標値設定の整理表（令和8年度）

事業メニュー (公募要領 別表 第1 「公募対象事業」欄)			目標値 (公募要領 別添「目標値」欄)	根拠となるデータ (公募要領 別添「目標値の設定に当たっての根拠及び留意事項」欄)
1	ア	食育推進検討会の開催	必須 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を常に又は時々選んでいる者の割合
	イ	食育活動を推進する人材の育成及び活動の促進	選択 食文化の継承度	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承し、伝えている者の割合 郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている者の割合
	ウ	食文化の保護・継承のための取組支援	選択 栄養バランスに配慮した食生活の実践度	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代（20～30歳代）の割合
	オ	和食給食の普及	選択 食育の推進に関わるボランティアの数	食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している者の数 (食育に関する民間資格を有する者の数を含む)
	キ	共食の場における食育活動	選択 学校給食における地場産物等を使用する割合又は学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数	学校給食における地場産物等を使用する割合 (金額（材料費）ベースで算定すること。) 学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数
	ク	環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上の取組	選択 地域等で共食したいと思う人が共食する割合	共食の機会があれば参加したい者のうち、過去1年間に共食の場へ参加した者の割合
	ケ	食品ロスの削減に向けた取組	選択 食品ロス削減のために何らかの行動をしている者の割合	食品ロス削減のために何らかの行動をしている者の割合
	コ	課題解決に向けたシンポジウム等の開催	選択 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ者の割合	環境に配慮した農林水産物・食品を常に又は時々選んでいる者の割合
2	「産地・生産者への理解向上」の取組		選択 食品の安全性についての知識を持ち、自ら判断する者の割合	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する者の割合
1	エ	農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進	必須 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 必須 農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の増加割合又は延べ人数	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を常に又は時々選んでいる者の割合 農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の増加割合又は延べ人数 <small>(根拠となるデータ等による目標値の設定が困難な場合には、前年度の体験参加者数(延べ人数)を把握し、本年度の体験プログラム等から事業内容を踏まえ参加予定者数や開催回数等を勘案して、目標値を設定してください。)</small>
1	カ	学校給食における地場産物等活用の促進	必須 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 必須 学校給食における地場産物等を使用する割合又は学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を常に又は時々選んでいる者の割合 学校給食における地場産物等を使用する割合 (金額（材料費）ベースで算定すること。) 学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数
3	「地域農業・教育連携モデルの創出」の取組		必須 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 必須 農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の増加割合又は延べ人数 必須 学校給食における地場産物等を使用する割合	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を常に又は時々選んでいる者の割合 農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の増加割合又は延べ人数 学校給食における地場産物等を使用する割合 (金額（材料費）ベースで算定すること。)

※各事業メニューごとに、必須の目標値に加えて取組の内容に応じて「選択」の目標値から1つ以上の目標値を選択し、**各事業メニュー2つ以上**の目標値を設定すること。

※**必須の2つ**の目標値を設定すること。

※**必須の3つ**の目標値を設定すること。